

# 議会 ながのはらまち だより

2022  
JANUARY  
1  
No.130

10月臨時会や12月定例会の内容をお伝えします



表紙：ハツ場あがつま湖を遊覧する観光船（説明13ページ）



QRコードから議会  
だよりをダウンロード  
できます

# 10月臨時会と12月定例会で こんなことが決まりました

## ○10月臨時会（会期10/21）

補正予算	.....	1 件
その他	.....	1 件

---

合 計 ..... **2 件**

主なものを当誌より掲載します。

## ○12月定例会（会期12/2-16）

専決処分	.....	3 件
条例制定・改正	.....	4 件
補正予算	.....	5 件
意見書の提出	.....	2 件
その他	.....	2 件

---

合 計 ..... **1 6 件**

■表 契約資産及び合意賃貸借期間一覧

財産の所在	嬭恋村大字鎌原字 モロシコ1053番地26 長野原町営浅間園 旧浅間火山博物館
面積合計	4,411.57㎡のうち 3,030.44㎡
賃貸借期間	契約締結日から 令和9年3月31日
賃貸借料	営業利益の10%

令和2年度末に閉館した浅間火山博物館の利活用が決定しました。プロポーザルによる事業者選定を経て、来年度より利活用するため契約を締結します。

利活用業者は株式会社キズキレンタルサービス（埼玉県）です。事業内容は全天候対応のインドアスポーツ施設として電動バイク等の室内乗車、ボルタリングなどが計画されています。

令和4年夏頃オープン予定です。

## 契約締結

# 旧浅間火山博物館 利活用業者決定

## ■ 10月臨時会で可決した議案一覧

議案番号	議案名	内容	関連	
議案	1号	土地賃貸借契約の合意書	鹿島軽井沢リゾート（株）と契約満了を迎えるにあたり期間延長や賃貸借料などを定めた合意書を締結するもの	3
	2号	一般会計補正予算	一般会計を補正するもの	4

## ■ 12月定例会で可決した議案一覧

議案番号	議案名	内容	関連	
承認	1号	職員の給与に関する条例の一部改正	人事院勧告に伴い、職員の期末手当などを引き下げる専決処分をしたもの	—
	2号	町長、副町長及び教育長の諸給与条例の一部改正		
	3号	議会の議員の議員報酬等に関する条例の一部改正		
議案	1号	町営浅間園旧浅間火山博物館施設賃貸借契約の締結	契約を締結するもの	2
	2号	字の区域の変更（大字川原湯地区等）	代替地造成により、複数の字にまたがる区画が生じるため区域を変更するもの	—
	3号	行政手続に関する押印の見直しに伴う関係条例の整理に関する条例制定	押印廃止に向けた行政手続の簡素化を図るため制定するもの	—
	4号	特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	特別職の非常勤職員の任用要件を改正するもの	—
	5号	手数料条例の一部改正	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の改正に伴い一部改正するもの	—
	6号	国民健康保険条例の一部改正	国民健康保険法施行令などの改正に伴い一部改正するもの	—
	7号 11号	一般会計・4特別会計補正予算	令和3年度一般会計予算や国民健康保険、へき地診療所など4特別会計を補正するもの	4
発委	1号	意見書の提出 安全・安心の医療・介護・福祉を確立し国民のいのちと健康を守るための意見書	意見書を地方自治法第99条の規定により国会、関係行政庁に提出するもの	5
	2号	意見書の提出 中華人民共和国による人権侵害問題に対する調査及び抗議を求める意見書		

## プレジデントリゾート軽井沢 合意書交わす

今年10月に鹿島軽井沢リゾート株式会社（プレジデントリゾート軽井沢）との契約が満了となるため、更新の手続きを行いました。土地の年間賃貸借料は3,500万円とし、期間は令和9年3月31日まで延長などを定めた合意書を取り交わしました。

■表 契約資産及び合意賃貸借期間一覧

財産の所在	長野原町 大字北軽井沢字鼻曲
筆数	10筆
面積合計	2,267,628㎡
賃貸借期間	昭和61年10月24日から 令和9年3月31日
賃貸借料	3,500万円

# 新型コロナウイルスワクチン追加接種 (3回目)予算計上される

令和3年度一般及び4特別会計補正予算を全員一致で可決しました。今回の一般会計予算は、1億1,480万3千円の追加補正を行うもので、主に新型コロナウイルスワクチン接種事業や住宅管理事業などを行うものです。

## 一般会計補正額一覧（千円以下切捨）

### ■10月臨時会（10/21）

一般会計補正予算（第5号）  
3,233万円増額（計43億7,467万円）

### ■12月定例会（12/9）

一般会計補正予算（第6号）  
8,246万円増額（計44億5,714万円）

## ■特別会計補正予算一覧（12月定例会）

特別会計	補正額	補正後総額
国民健康保険	1,015万円	7億3,639万円
へき地診療所	297万円	9,809万円
介護保険	260万円	6億8,628万円
後期高齢者医療	△21万円	9,101万円

（千円以下切捨）

## 【補正による主な事業】



385万円

### 交通安全対策事業

交通弱者の交通安全を確保するため、地域公共交通調査分析業務委託。



1,520万円

### 新型コロナウイルスワクチン接種事業

新型コロナウイルスワクチンの3回目接種費用など。



1,050万円

### 住宅管理事業

障がい者グループホーム化に伴い、坪井住宅の屋根や外壁を補修するものなど。



550万円

### 統合小学校改修整備事業

令和6年度統合に向け西中学校舎を改修するための基本設計委託。

質疑応答

統合小学校改修整備事業の明細は

**問** 浅沼議員 統合小学校改修整備事業 550万円の明細は。

基本設計を行う

**答** 教育課長 基本設計を行い、来年度の実施設計に向けた基本的な内容を精査する。主に資料作成、平面図等の作成となる。

障がい者グループホームの進捗状況は

**問** 牧山議員 障がい者グループホームに改修をするにあたり、屋根と外壁を補修するが、事業の進捗状況はどうなっているか。

4月入所開始を目指している

**答** 町民生活課長 4月入所開始を目指し3月中旬に改修完了予定で進んでいる。その後、入

居準備としてお試しお泊まり会や備品等の準備をしていく。

マイナポイントの  
手続き方法は

**問** 大羽賀議員 マイナンバーカードと健康保険証や銀行口座を登録することによりポイントが付与されるが、手続き方法はどうか。

窓口対応や広報誌で周知

**答** 町民生活課長 窓口の職員がポイント付与まで説明する。広報誌などにも情報を掲載していく。



# 請願陳情 国へ意見書提出

11月末日までに受理された陳情4件の内3件は、12月議会定例会（2日）に所管の常任委員会に付託・審議されました。



■表1 請願・陳情の審査結果一覧（総務文教常任委員会付託分）

受理番号	件名	提出者	内容	結果
13号	安全・安心の医療・介護・福祉を確立し、国民のいのちと健康を守るための陳情	群馬県医療労働組合連合会 中央執行委員長 出浦 匠人	新型コロナウイルス感染状況を教訓に、安全・安心の医療・介護・福祉を確立し国民のいのちと健康を守るため、国に意見書の提出を求める陳情。	採択 (意見書の提出)
14号	ウイグル等の人権問題に対し調査を求めるための陳情	ウイグルを応援する全国地方議員の会 会長 丸山 治章 (逗子市議) 他3名	中華人民共和国による人権侵害問題に対し日本政府として調査し抗議するため、国に意見書の提出を求める陳情。	採択 (意見書の提出)

■表2 請願・陳情の審査結果一覧（産業建設常任委員会付託分）

受理番号	件名	提出者	内容	結果
15号	公衆用道路における木橋修復についての陳情	北軽井沢区長 川口 賢治	木橋が崩壊し、営農に不都合が生じているため、修復を求めるもの。	採択 (材料支給で対応)

# 「やんば」と「あさま」を繋ぐ

## ■2日間の視察先

1日目は八ッ場あがつま湖エリアの新たな観光施設である「川原湯温泉あそびの基地NOA」「道の駅 八ッ場ふるさと館」「湖の駅 丸岩」と長野原草津口駅と北軽井沢を結ぶ路線バスを運行している草軽交通(株)を視察させていただきました。

2日目の浅間エリアは、避暑地として知られ、浅間山の美しい景観を背景に、広大な森林と牧草地が広がっています。

このエリアでは、春にリニューアルオープンし



草軽交通(株)との意見交換会

た浅間山北麓ビジターセンター、浅間牧場、浅間山直轄火山砂防事業の火山噴火緊急減災対策、畜産クラスター事業を視察させていただきました。町の魅力を再確認し「やんば」と「あさま」を繋ぎ町の活性化・発展に活かしていきたいと思



管内視察レポート  
萩原 宗仁 議員

川原湯温泉あそびの基地NOAでは、新しい事業として、東京のクラフトビール醸造会社がテナント出店し早ければ年内に仕込み、ふるさと納税の返礼品になるような品を作りたいとの事である。

湖の駅丸岩は、つなぐカンパニーなのがらと連携し、高校生の修学旅行受け入れを行ったり周知活動の強化、景観の良さを活用した事業を模索するとの事である。

つなぐカンパニーなのがらでは、町民にとって住みやすい町に向かって町民自らが活動出来る組織であり、令和3年度は人材育成に力を入れ、様々の取り組みが始まっているとの事である。

道の駅八ッ場ふるさと館は、平成25年にオープ

ンした施設であり、また令和2年度にはふるさと工房が完成した。今後の目標は商品開発、地域物をどれだけ売るか、農家のスター作りとの事である。

どの施設もコロナ禍により大変であるとのことであるが、それぞれの施設が創意工夫し子孫々につなげるとの意欲を感じた。



場所：片蓋第二砂防堰堤



## 畜産クラスター 事業について

畜産クラスター計画を策定した地域の収益性向上等に必要な機械の導入、施設整備、家畜の導入等を支援するもので、搾乳ロボット牛舎整備による規模拡大と飼養管理先端技術導入による労働生産性向上システムを確立するとともに家畜導入により飼育頭数の増頭を図り、生乳生産量の増加を図ることで。



管内視察レポート  
梶野 寛丈 議員

今年には町内の管内視察となりましたが、充実した視察を行うことができました。

「浅間山北麓ビジターセンター」では、3名の若い地域おこし協力隊のスタッフがオリジナルのガイドツアーを創る為に個々の特技を活かし日々努力している事に可能性を感じました。来場者はまだ多くないですが、待つだけではないでなく、特色ある活動を地域の方々にも知って頂く為に小学校、中学校への出張教室等を企画することで地域とつながり、来場者の増加につながるだろうと感じました。

次に「畜産のクラスター事業」「バイオマスエネルギー事業」についてです。初めて現場を見ることができましたがその規模感、若い世代がチャレンジしている姿にとっても驚きました。10億を超える事業ですがその行動力の源は？という質問に「地域の酪農が衰退していくのをどうにかしたい思いです」と、とても力強い返答が印象的でした。若い世代が地域の課題解決に動きだしている。この若者達の行動力が町の未来を創るだろう。期待は膨らみます。

# 議会全員協議会の内容を紹介します

12月定例会で行われた議会全員協議会の主な内容は下記のとおりです。

## 報告事項

### ●町国土強靱化地域計画について

国土強靱化基本法に基づき、大規模自然災害等が発生時に被害を最小限に抑え、迅速に復旧・復興できる、強さとしなやかさを備えた地域・経済社会の構築に向けた地域計画の内容について説明を受けました。

### ●新型コロナウイルス感染症に対する対応について

新型コロナワクチン追加接種（3回目）について予約方法や接種開始予定時期等の現時点で決まっていることについて説明を受けました。質問は接種するワクチンの種類や期間について行われました。

### ●太陽光発電設備設置事業への対応について

景観の保全や良好な住環境を維持することを目的とした太陽光発電施設建設に於ける開発事業の見直しについて説明を受けました。質問は設備更新時の対応等について行われました。

### ●教育委員会の点検・評価について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、教育行政事務の管理執行状況について点検・評価を行った結果の報告を受けました。

## 議会活動

### 町道遠西萩の平線「長栄橋」開通式

11月1日、平成30年度から建設工事が行われていた「長栄橋」が完成し開通式が執り行われました。ハツ場ダム関連ではまだ補完的な工事を行っていますが、住民の生活に直結する事業は最後となりました。



## 新春恒例行事行われる



## 町消防団出初め式

町消防団出初め式が令和4年1月6日（木）、町屋内運動場を会場に開催されました。式典終了後は林横壁（9）分団・北軽井沢（10）分団による放水試験が行われました。

## 新年交歓会

町新年交歓会が令和4年1月6日（木）、@長野原（住民総合センター大ホール）を会場に開催されました。新型コロナウイルス感染症の影響で2年ぶりの開催となり、まだ感染拡大が心配されることから縮小して執り行われました。



議会傍聴のご案内

## あなたも議会を傍聴しませんか？

議会定例会や臨時会の様子はどなたでも傍聴できます。（本会議前に開催される全員協議会も傍聴可能となりました。）傍聴される際は議会開催日に議場までお越しいただき、受付票に必須事項を記入、受付箱に投函して傍聴をお願い致します。なお、開会時間は開催日より異なり「くらしのカレンダー」などで掲載している日程も変更となる場合があります。

現在、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスクの着用、手指消毒、検温、傍聴人数の制限の協力をお願いしております。

また、平熱を上回る発熱のある方、体調のすぐれない方、せき、くしゃみの症状のある方には、傍聴をご遠慮いただいております。ご不明な点は、長野原町議会事務局（☎0279-82-3019）までお問合せください。

-議会開催予定-

令和4年2月

臨時会

15日（火）

令和4年3月

定例会

2日（水）

9日（水）

16日（水）

## YouTubeで議会の様子を録画配信中！

令和2年12月以降の定例会一般質問の様子をインターネット配信しています。

### 視聴方法

○長野原町役場ホームページのトップページから「長野原町議会」⇒「動画配信」  
(<https://www.town.naganohara.gunma.jp/www/index.html>)



視聴はこちらから

ここが知りたい!

# 一般質問

## 一般質問とは

定例議会において、各議員が住民の代表として行財政にわたり町政の考え方や疑問をたずねることです。単に疑問を晴らし事実関係を明らかにするだけでなく、現行政策の見直し、新規施策を提言する議員の重要な活動です。

質問者	質問内容	ページ
浅沼 克行 議員	町長2期目の総括と、次期町長選への出馬の意向は	11
浅井 直輝 議員	廃校活用について	12
星河 明彦 議員	再生可能エネルギーの活用推進について	13
入澤 信夫 議員	町有地の有効活用について	14
牧山 明 議員	町過疎地域持続的発展計画の実施について 町へき地診療所の改修計画について 緊急通報装置について	15

※紙面の都合により要約・省略などの編集を行っておりますのでご了承ください。

ここが知りたい！  
一般質問



## 次期町長選へ出馬の意向は

### 萩原町長出馬表明 『もつと熱く・もつと高く』 町政に全力を尽くす



つなカンの設立と大きな事業を行った4年だと思ふ。3期目を目指して出馬する意向はあるのか。意向がある場合は、2期目の総括と、3期目に対する覚悟や町をどのように導いていきたいか考えを伺いたい。

**問**

萩原町長が平成26年4月町長就任以来、2期8年が残すところわずかとなった。1期目は町長の「明るく活力のある町づくり」の構想の基に数多くの施策を打ち出し、2期目は町の最重要課題である八ッ場ダムの完成、それに伴う生活再建、地域振興事業の完成、役場新庁舎の建設完成、そして学校統合、

**答**

町長 68年という長きにわたる八ッ場ダム建設事業の総括の時に並行して、役場新庁舎の建設や地域振興を担う新組織の設立を成し得ることが出来た。2期目は「長野原町をひかり輝く町に もつと前へ」をテーマに、4つの選挙公約を掲げ取り組み、中には不十分だったことや達成出来なかった

こともあるが、ぶれることなく貫き通すことができたことは一定の評価をしている。

この8年間、町のかじ取りをさせて頂いた中で、町の課題目標は、「人材育成」や「連携」であることがわかった。昨年より「繋ぐ」「育てる」という言葉を町のテーマとして歩み始めた。

3期目にまずやらなくてはならないことは、新型コロナウイルスの影響で失いかけている町の元気を取り戻すことだ。

喜びは皆様と分かち合い、困難は共に乗り越え、『もつと熱く・もつと高く』町政に全力を尽くして参る所存です。具体的な公約については来年度以降お示ししたい。

**問**

人材育成、人づくり、繋ぐ、育てる、そして復興と順序だてているが、町には多くの課

題が山積していることについて考えを伺いたい。

**答**

町長 色々な課題ははつきりと見えているので、1月以降選挙公約としてお示しする。生きる力を育む町をメイソシエティ5・0時代のなかで、誰もが自分らしく生きていける町を築いていきたい。町づくりを自分事として捉えて、考え、行動できる人を一人でも多く育て、「将来リーダーになる人材」「そのリーダーをサポートできる人材」「イノベーションを起こす人材」など様々な人材を発掘していきたい。また、民間との連携を促進し、オープンイノベーションを模索していく。

# 問

## 廃校活用について



あさい なおき  
浅井 直輝 議員

# 答

## 利活用を具現化していく

**問** 今現在廃校になった校舎が1棟あり、令和6年度には、あと2棟増える予定がある。廃校になった校舎をどのように活用していきたいのか町長の考えを伺いたい。

**答** 町長 職員を中心に開催している空き校舎の利活用検討会議を来年早々に議員皆様をはじめ、町民の皆様に加わっていただき、空き校舎の利活用を具現化していきたいと考えている。

**問** 廃校の利活用には、地域住民の交流の場をメインとした複合施設（老人ホーム、公民館、診療所、消防団の詰め所、コンビニ等を合わせた施



設）や団体の泊まれる宿泊施設がある。また、農業、林業、畜産業などの後継者不足や人材不足対策の研修施設やドローンスクール等の方法がある。ドローンに関しては、インフラ点検、農業利用、配送補助、測量、災害時の搜索活動など、あらゆる場所で活用が期待される。来年度から国家資格になる予定もあり、需要が増えることが見込まれる。改修の費用も少額で済ん

だ。先行事例もあるがいかか。  
地元の人々の意見を最優先に、各地域に合った良い活用方法を早期に見つけ、未利用期間を減らし、建物が傷まないようにしてもらいたい。

**答** 町長 私の考え、方向性は民間にまかせたいという思いである。その中で十数社と折衝してきたが、アウトドア専門の学校を作りたいという学校法人とは継続折衝中である。誰があの大きな建物を維持管理していくのかがポイントとなるので、私はこれからも民間との折衝を続けていく予定だ。

そういう中で、町民の皆様から、「生きがいを感じられる施設」「みんなで集まれる施設」という声を沢山いただいているので、地域住民で作

一つあっても良いと思う。学校には、子供達の思い出や地域住民の様々な思いも詰まっているので、地域住民が自分事として捉え、真剣に考え、意見を出せるような流れを作り廃校活用を進めていきたい。

各地域の代表である議員の皆様には各地域の言葉を届けて頂きたい。



応桑小学校

ここが知りたい！  
一般質問



ほしかわ あきひこ  
星河 明彦 議員

## 再生可能エネルギーの活用 推進について

### バイオマス産業都市構想 策定を進めていきたい

**問**

新エネルギーの導入については、総合戦略、地域新エネルギービジョンの中で計画をされている。バイオマス産業都市選定に向けて計画を策定中と思うが、進捗状況や目指すべき将来像についての考えを伺いたい。

**答**

町長 バイオマス産業都市構想については、バイオマス資源の賦存量のアンケート調査や直接事業者ヒアリングを行い、町内のバイオマス発生状況や利活用に係る現状整理と目指す効果をまとめて、年内に第1回目の構想策定委員会の開催を予定している。その後、目指すべき将来



建設中のバイオガスプラント

像と目標、事業化プロジェクト、地域波及効果など検討を行い、バイオマス産業都市の将来像が持続可能な開発目標であるSDGsにも貢献できる構想策定を進めていきたい。最終的な認定は、令和4年秋頃を予定している。

**問**

先日、管内視察の際、バイオガスプラントを見学させてもらったが、民官の方が組合組織を作り、補助金も自分たちで探し、何億もお金を投入し進めている姿に衝撃を受けたとともに、北軽井沢のポテンシャルの高さを実感した。バイオマス産業都市は実現可能と思う。町長の重点施策として進めていただきたい。

**答**

町長 バイオマス産業都市構想は資源が豊富な我が町に合致している。糞尿を資源と捉え、それをエネルギーに変え、残った消化液を液肥として町の基幹産業である野菜農家に使ってもらえることが出来たら素晴らしいことだ。そういう連携が好循環を生み、この取組みを押し出していくことで野菜のブランド化にも繋がると信じている。野菜

農家と酪農家との連携には、協議や検討が必要だが、こういう連携や好循環を築いていく事がまちづくりにつながると思う。来年度はバイオマス産業都市構想を町の大きな指針の一つとして力を入れて取り組んで行く。秋の認定は必ず勝ち取ってくる。



### 表紙の写真

令和4年元旦より  
運行開始となりまし  
た観光船です。  
12月16日(木)の  
議会定例会終了後に  
試乗させて頂きまし  
た。

♻️ 賦存量とは？⇒石油やバイオマスなどといった資源の理論上潜在的に存在していると算定される量のこと。



## 町有地の有効活用について



いりさわ のぶお  
入澤 信夫 議員

### 利活用方策を慎重に 検討していく

**問**

町で所有する土地が各地域にあるが、そのような土地を一般に貸与するなど有効活用について、町長の考えを伺いたい。

**答**

町長 町が所有している未利用町有財産については、最低限の管理を行っている。その中で、貸与が可能な目的を持たない普通財産を一般に幅広く公募し審査を行った上で、利用者を決定し、財産管理を進めて行きたい。

今後、各地区に存在する普通財産の貸与については、未利用等の町有地を有効活用するため、民間の活力導入など、幅広い可能性も視野に入れ、

利活用の方策を慎重に検討していく。

**問**

利用目的もあるかとと思うが、未利用の町有地を賃貸借することにより、町に利用料が入る。ただ、最低限の管理をしているよりも有効活用とかがいかか。また、応募団地について、近年購入者がいないように思うが、クラインガルテン等新たなアイデアを投入してはどうか。

**答**

町長 町が所有している土地について知ることが大切。寄与してくれた方の思いや町民の福祉、厚生、町民の利益に繋がる使い方であれば公募していくのは一



つの方法である。それに伴う料金や条件等について庁舎内で議論させていただき、町民の皆さんに理解して頂ける形で進めたい。

応募団地については財政や補助金等も含め新たな展開が出来るか真剣に考えたい。

### 議会広報の役割・手法などを学ぶ

県内町村議会議員を対象とした広報研修会が11月18日、19日、群馬県市町村会館（前橋市）を会場に開催され、本町議会広報編集委員が参加しました。

近年、各自治体議会が発行する議会広報は情報の充実やレイアウトなどについても工夫が求められています。今回の研修では、議会広報サポーターの芳野政明氏を講師に「住民に読まれ、議会活動が伝わる議会広報の基本と編集」と題した講演が行われました。



ここが知りたい!  
一般質問



- ① 町過疎地域持続的発展計画の実施について
- ② 町へき地診療所の改修計画について
- ③ 緊急通報装置設置について

① 国や県の財政支援を受けて実施していく  
② バリアフリー化の改修を検討している  
③ 緊急通報装置を無料で設置している

問

① 町過疎地域持続的発展計画の実施について、令和3年から令和7年までの計画をどのようなスケジュールで実行するのか。また、過疎地域に指定されたメリットは過疎債が使用できることと思う。過疎債は約7割が交付税措置され、様々な事業やインフラ整備が進められる。このことを町民に知らせ、意見や要望をいただくことが重要と考えるが町の考えを伺いたい。

② 町へき地診療所の改修計画について、スケジュール、改修内容はどのように考えているのか伺いたい。

③ 緊急通報装置設置について、町では既に取り組

答



町長 ① 国や県の指導及び支援を受け、事業を実施していく。令和7年度中に実施した事業計画を着実に推進していくために、評価等の結果に基づきながら、PDCAサイクルを通じ、

んでいるが、実際の機能や使い勝手等、手遅れになる前に家族や自治体職員が気づける仕組みも必要と思うが、一歩踏み込んだ考えをお伺いしたい。

過疎対策の実効性を高め、地域の持続的発展に向けて取り組めるよう、新規事業実施の追加など令和8年度から令和12年度までの計画の再策定を行う予定。

また、原則として計画書に記載の無い事業は、過疎事業関連の財政支援が受けられないため、町の指針である総合戦略、総合計画の内容を盛り込んだ過疎計画となっており、過疎債は借金なので、次世代を担う子ども達のことを考え使用すべきと思っている。

住民への周知に関しては、過疎地域に指定されたメリット等を再度周知していく。

② 町民の意見を参考に入口玄関のバリアフリー化やトイレの改修は予算化し対応予定である。また、大規模改修を行うという考え方もあるが、診療所を休止させるわけにはいかない。金子医師と相談し進めていきたい。

③ 現在高齢者世帯で希望する方に緊急通報装置を無料で設置しており、利用者が急病など緊急時にボタンを押すことで委託先の「あんしんセンター」に繋がり、救急車の手配や親族等へ連絡ができる。また、緊急時以外でも健康相談なども行なっている。置いておくもの以外にも首からさげるものもあり、役に立つと思うが、それだけでは不十分なので高齢者だけでなく若い方にも使用できる新たな健康サポートや見守り支援なども実証実験を含めて検討している。





## ハツ場ダム堰堤内及びハツ場発電所を視察

10月21日（木）にハツ場なるほど資料館・ハツ場ダム・ハツ場発電所の視察を行いました。当日は利根川ダム総合管理事務所、群馬県企業局の方にご協力いただき、ダム堰堤内部のコンジットゲート、発電所の概要、プロジェクションマッピングなどを案内していただきました。

### 編集後記

新年明けましておめでとうございます。  
とうございませう。

新型コロナウイルスとの闘いが長期化する中、オミクロン株等の懸念もあります。少しづつ様々な活動が再開されつつあります。

今年皆様にとって更なる飛躍の年になりますよう心よりお祈り申し上げます。

「議会だより」も広報委員、議会事務局も県主催の研修等に参加しより良い、皆様に興味を持って読んで頂けるような誌面作りに、努力してまいりますので本年も宜しくお願い申し上げます。

(MH)

#### ◎広報委員

委員長 大羽賀 進  
委員 牧山 明

萩原 宗仁  
梶野 寛丈